

さいたま市

第3号
平成19年2月1日発行

明るい選挙

推進協議会たより



埼玉県議会議員 一般選挙が行われます。
さいたま市議会議員

告示日 平成19年3月30日(金)
投票日 平成19年4月8日(日)

市区合同明るい選挙推進協議会啓発研修会風景



▲松本会長による講演(要旨は2頁)



選挙啓発ポスターコンクール

明るい選挙の推進や投票参加を呼びかける内容をテーマに、市内の小・中・高等学校の児童・生徒の皆さんから選挙啓発ポスターを募集したところ、平成18年度は小学生86名、中学生78名、高校生1名の計165名の方から応募をいただきました。

さいたま市明るい選挙推進協議会において審査を行い、以下の11点のポスターが優秀賞に輝きました。



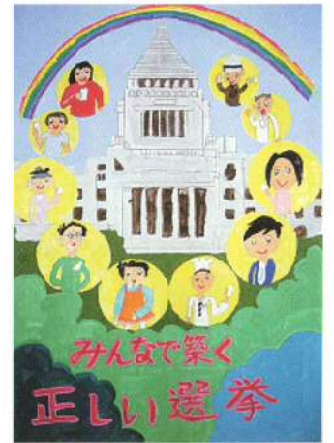
大砂土小学校 6年
戸崎 由紀



大宮東小学校 5年
松山 凱



下落合小学校 6年
川俣 奈美



木崎小学校 3年
横尾 彩乃



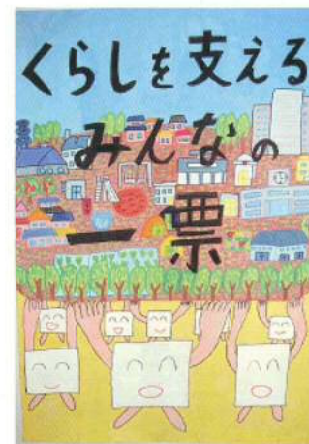
大谷口小学校 6年
青田 優花



大宮東中学校 1年
岩井 理紗



春里中学校 1年
関根 美希



春野中学校 2年
千田 祥子



与野西中学校 2年
石野 真理



慈恩寺中学校 3年
吉田 沙季



大宮工業高等学校 1年
鷹巣 裕奈

広報委員 新井 俊雄 木野 治代 脇田 保 鈴木美恵子 小松佳津江 保柄 忠夫 加藤 路子
岡田 唯文 峯 光子 加藤 秀子 瀬谷 正代 ◎…委員長 ○…副委員長

編集・発行 さいたま市明るい選挙推進協議会/さいたま市選挙管理委員会
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 TEL 048-829-1773

PRINTED WITH SOY INK
本誌は環境に配慮し再生紙と大豆インキを使用しています。

最近行われた選挙の投票率が伸びてきています。

平成17年の衆議院議員総選挙と平成15年の衆議院議員総選挙を比較すると20代から30代前半の投票率の伸びが著しいです。

また、都市部の伸びが顕著であり、埼玉県も投票率が11%程度伸び、全国最下位から脱却しました。

この傾向は、国民の政治意識が変わってきたからではないかと考えます。

小選挙区制の導入により、政権選択が可能となり、自分が投票する意味があるのかとか、自分の一票が持つ意義は何なのかということに對する手応え感を持つようになっています。

ただ、地方の選挙、とりわけ議会議員の場合、このような手応え感が乏しいので投票率はあまり芳しくないのではないかと思います。

従来は、ともすると政治に無関心な無党派層が増えてきたので投票率が低いと考えられてきましたが、有権者の多くは、日常的に特定の支持政党を持たないものの、政治に対する関心は持っていて、そのつどの選挙の状況や候補者によって選択しているのではないのでしょうか。

私は、それらの人を「そのつど支持」層と名付けています。これらの人は、年代に関係なく4割程度と一定しており、選挙期間中になつて投票する政党や候補者を決定する人が多いです。(表2)

日本の投票制度は、一定の日時に特定の場所に行つて投票するもので、投票する側の負担する割合が高い制度です。アメリカでは、総投票数に占める事前投票の割合が25%以上もあり、日本でも平成15年

有権者の投票行動と

明るい選挙推進運動

さいたま市明るい選挙推進協議会

会長 松本 正生



から始まった期日前投票制度をもっとPRしていく必要があるのではないのでしょうか。平成17年の総選挙時には、全国で896万人(総投票者の13%)が期日前投票を行っており、有権者や若者にも非常に便利な制度であるので、今後は、期日前投票所の増設をしていくべきであると考えます。

また、そのような制度があるので「投票日」という啓発に強調していくのが良いのではないかと考えます。

私たちがこれから進めていく明るい選挙推進運動の啓発は、対象を明確にすべきであり、

特に投票率が低い若年層や高齢者層に的を絞って行うことがより効果的であると考えます。

ちなみに、10月と11月に行つた選挙キャラクターの電子投票には、学生たちも啓発の手伝いをし、対価のないボランティアとして行った達成感が貴重な経験になったと思います。こんなことが同世代の人の輪に繋がればと思います。

また、投票者も通常の選挙と違い家族連れの子供たちが参加できたので大変良かったのではないかと思います。投票参加に向けた啓発は、このような様々なイベント等を通して

表1 [H15衆とH17衆の年齢別投票率比較データ]

| 年齢 | H15衆 | H17衆 | 投票率の差 |
|-------|-------|-------|-------|
| 20-24 | 32.39 | 43.28 | 10.89 |
| 25-29 | 38.47 | 48.83 | 10.36 |
| 30-34 | 46.23 | 56.71 | 10.48 |
| 35-39 | 55.91 | 63.22 | 7.31 |
| 40-44 | 62.74 | 70.25 | 7.51 |
| 45-49 | 66.55 | 73.69 | 7.14 |
| 50-54 | 68.47 | 76.10 | 7.63 |
| 55-59 | 71.68 | 79.38 | 7.70 |
| 60-64 | 76.79 | 82.55 | 5.76 |
| 65-69 | 79.09 | 83.69 | 4.60 |
| 70-74 | 78.12 | 80.97 | 2.85 |
| 75-79 | 72.98 | 75.55 | 2.57 |
| 80以上 | 52.05 | 52.69 | 0.64 |

表2 政党支持の構造 共同通信社トレンド調査

| | 03.11 衆院選 | | | 04.7 参院選 | | | 05.9 衆院選 | | |
|-------|-----------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | 支持政党あり層 | そのつど支持層 | 完全支持なし層 | 支持政党あり層 | そのつど支持層 | 完全支持なし層 | 支持政党あり層 | そのつど支持層 | 完全支持なし層 |
| 20-29 | 18.7 | 44.5 | 36.1 | 15.1 | 50.7 | 34.2 | 14.7 | 60.6 | 24.7 |
| 30-39 | 18.7 | 44.7 | 35.7 | 18.2 | 44.0 | 37.8 | 15.9 | 57.4 | 26.7 |
| 40-49 | 27.5 | 39.4 | 32.6 | 24.9 | 50.6 | 23.8 | 28.0 | 48.6 | 23.4 |
| 50-59 | 39.8 | 40.5 | 19.4 | 46.1 | 40.4 | 13.5 | 43.6 | 39.5 | 16.1 |
| 60-69 | 43.7 | 38.2 | 17.3 | 46.3 | 35.7 | 17.5 | 50.0 | 36.3 | 13.2 |
| 70~ | 43.7 | 38.7 | 15.2 | 43.9 | 35.2 | 18.9 | 52.4 | 31.3 | 13.1 |
| 全体 | 31.3 | 41.2 | 26.6 | 32.0 | 43.2 | 24.4 | 33.4 | 46.1 | 19.8 |

西区明るい選挙推進協議会



▲ 政治講座風景

当協議会では、平成18年度におきましても、積極的な啓発活動を行ってまいりました。今年度は、選挙が予定されていなかったこともあり、駅前での街頭啓発活動こそありませんでしたが、昨年度に引き続き、三橋総合運動公園にて行われた「西区ふれあいまつり」にブースを設け、啓発活動を行いました。また、新たに、政治参加の意識を促進することを目的に政治講座を開催いたしました。

ふれあいまつりでの啓発活動では、物資配布をはじめ、投票経験のない方にも投票の疑似体験をしていただくという事で、記載台と実際の投票箱を用いて選挙キャラクターの市民投票も行いました。雨の日にもかかわらず、子供からお年寄りの方まで約千票の投票を得ました。また、政治講座においては、推進員を中心に40名の参加者の中行われ、日常生活に政治・経済や選挙がどのようにかかわっているかについてあらためて考える時間がありました。来年度は、より多くの区民に参加してもらい、一人でも多くの人と一緒に、自分の生活とどう政治がかかわりを持ち、その源とも言える「二票」の重要性を考えていきたいと思います。



▲ 風景ではなく、こうした地道な風啓発活動が政治参加の意識を高揚を図り、自発的な政治への関心を生むと信じて、今後も活動を行っていかふれあいまつりと考えております。

広報委員 鈴木美恵子

北区明るい選挙推進協議会

当協議会では、10月11日に推進員研修会として、毎日新聞さいたま支局長の清宮克良氏を講師にお迎えして、「新政権と今後の日本と世界」というテーマで、講演会を開催いたしました。清宮氏はワシントン特派員時代に2000年米大統領選挙、9・11同時多発テロなどを担当していて、アメリカの諸事情に詳しく多方面にわたりお話をしてくださりました。約60名の参加者からも活発な質疑事項が出され有意義な研究会となりました。

又、11月12日に開催された北区区民まつりにおいては、ブースを設置して、選挙キャラクターの市民投票を呼びかけて選挙で実際に使用している投票箱に普段は投票できない子供たちにも投票してもらい、その様子を撮影してその場でプリントをして差し上げるといふ、昨年と同様の啓発活動を行いました。来年度予定されている統一選挙にあたり投票率の向上を目指して推進委員の皆様の協力を得て意欲的な啓発活動を展開していきたく思っています。

副会長 小松佳津江



大宮区明るい選挙推進協議会



▲ ふれあいフェア参加呼びかけ風景



▲ めいすいくん人形制作風景

昨年の11月4日に「大宮区民ふれあいフェア」がソニックシティ周辺で行われ、多くの人が集いました。会場内の当協議会ブースでは、黄色い軍手で作つた、選挙キャラクター「めいすいくん」の人形を完成させて持ち帰っていただくように仕立てたものが大盛況を呼び、親子連れで大変賑わいました。

これは、大統領リンカーンの名言ですが、昨今の投票率の低迷は、云わば、現状の政治体制に対する諦めの観があり、民主主義の危機だと感じます。今年度は選挙の年、当協議会も選挙啓発事業が目白押しに予定されています。

子供や未来のため、健全な民主政治が歩まれるよう、区民に対する選挙への関心と投票率の向上を、啓発活動を通じて呼びかけていきます。

広報委員 保栖 忠夫

見沼区明るい選挙推進協議会

「見沼区明るい選挙推進協議会」は、今回推進員が21名増員となり、総勢152名が区の選挙管理委員会と連携して日常の活動にあたり、今年度は、6月に総会・全体会を開き、推進員の身分や推進活動の目的等について確認し合い意思の疎通を図りました。



また、11月には、全体研修会を開いてビデオ研修を行い選挙啓発活動の課題について話し合いました。今年度は国政等に係る大きな選挙は今の所予定されていませんが政治への関心、投票率の向上を図るには選挙のあるなしにかかわらず日常の地道な啓発活動が大切ではないかと思えます。

その他全体会等の時には啓発横断幕を掲出したリ、11月の見沼区ふれあいフェアでは啓発用品を配布する等して選挙への関心を呼びかけました。

来年度は四月早々、統一地方選挙があります。そのための駅前街頭啓発活動や期日前投票期間中の投票所管理者や立会人の派遣についても今後準備をしていく予定です。

会長 新井 俊雄

浦和区明るい選挙推進協議会

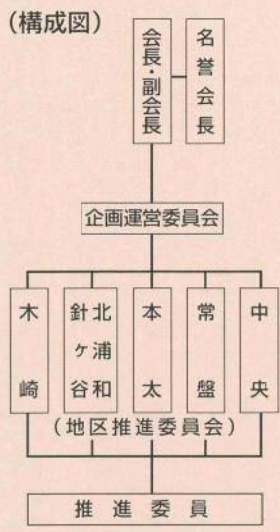
「浦和区明るい選挙推進協議会」が平成16年3月設立され、最初の任期2年が経過し、第2期目となる平成18年度においては、5月の総会にて規約の改正を行い、行政と連携した主体性をもった「民間団体」としてボランティア活動を強力に推し進めることを明確にした組織改正を行いました。

新たな協議会の構成は、図のようになりませんが、趣旨に賛同する仲間を推進委員とし、区明推協は、区内5地区50人の推進委員と名誉会長で構成され、会長と2人の副会長、5地区の代表である企画運営委員からなる企画運営委員会が活動の核となっています。

そして地域における明るい選挙推進運動の指導的役割を果たす指導者やリーダーなど、この運動の中核となる担い手を区内各地に広く養成することを目的とした「平成18年度浦和区明るい選挙推進協議会推進委員研究会」を11月7日に開催し、会長の基調提案のあと、参加者全員による主題に基づいた話し合い活動を行いました。

来年度は、4月の統一地方選挙から選挙の多い年になりますが、地区推進委員会の充実を図りながら啓発活動を通じて明るい選挙の実現、投票率の向上のため、努めてまいりたいと考えております。

広報委員 岡田 唯文



中央区明るい選挙推進協議会

大盛況！常時啓発活動

「中央区明るい選挙推進協議会」では、昨年度に引き続き常時啓発活動として「中央区区民まつり」においてブースを出展しました。

ブース内では「選挙啓発ポスター展示会」として区内小中学校から応募のあった26点の選挙啓発ポスターを展示するとともに、昨年度も好評であった「選挙のめいすいくんぬりえコーナー」を設置し、塗り絵を楽しんだお子さんには参加賞として「めいすいくんグッズ」を配布したところ、この「ぬりえコーナー」は与野体育館に出展されたブースの中でも最も賑わいのあるブースとなり、順番待ちをすることもたちで大盛況となりました。

また、塗り絵を楽しんでいるお子さんと保護者の方々の笑顔を拝見していると、選挙時の啓発活動も重要ではありませんが、選挙が実施されていない時期に行う平日頃からの啓発活動で「選挙」を身近に感じていただくというこの重要性も実感することのできた2日間でした。

会長 井原 祺子



「めいすいくん」も大活躍



「ぬりえコーナー」常に満席の

南区明るい選挙推進協議会



去る、11月5日(日)、浦和競馬場を会場に開催された「第4回南区ふるさとふれあいフェア」において、南区選挙管理委員会との共催で啓発活動を実施したので、その状況を報告します。

今回は、ブース内に「さいたま市選挙キャラクター」の投票所を設置し、投票をしていただいた親子連れの方々や南区カラーの黄色いガス風船に来年の選挙日程を記したカードを付けたもの5百個と啓発ティッシュペーパー17百個の配布、そして「めいすいくんと写真を撮ろう」という内容で臨みました。

当日は、穏やかな晴天に恵まれ、多くの方々にご来場いただき、市民投票には653票の投票をいただきました。用意していた啓発物資は、お昼頃にはすべてなくなり、盛況のうちには終了となりました。

秋空の会場内を見渡すと、黄色い風船があちこちに点在し、とてもきれいな情景でした。ご協力をいただきました選管並びに明推協の方々へ感謝を申し上げる次第です。

来年度は、多くの選挙が実施されますが、普段の啓発活動により南区の投票率が上昇することを願ってやみません。



桜区明るい選挙推進協議会



桜区明るい選挙推進協議会は発足3年目を迎え、明るい選挙啓発活動の更なる充実を図るため新たに推進員の募集を行い、18年度は11名の委員と74名の推進員の

新体制でのスタートとなりました。今年度は、桜区選挙管理委員会との共催で報道機関の解説委員を講師に迎え「どうなる日本の政治」と題した政治講座を開催いたしました。各自治会等から推薦された推進員の方も初めての政治講座に積極的に出席していただきました。

また、11月11日の区民ふれあいまつりの会場においては、選管委員をはじめ各委員・推進員の皆さんが大勢の家族連れなどで賑わう中、たくさんの方に明るい選挙の推進と投票参加を呼びかけました。同時に区内の小中学生が描いた選挙啓発ポスター作品展、選挙キャラクターの区民投票などを実施し、多くの区民の方々に選挙に対する関心を持っていただくことができました。

来年度は統一地方選挙、参議院選挙、知事選挙などが予定されており、協議会といたしましては投票立会や街頭啓発活動により、明るい選挙の推進と投票率の向上に努めてまいりたいと考えております。

会長 波田野岩雄



緑区明るい選挙推進協議会

3年目を迎えた当協議会ですが、昨年は初めて選挙の無い年となり、これまで同様に常時啓発に取り組みと共に、今後の活動をさらに充実させていくために、会の礎を築くことに努めた1年となりました。

その一環として、4月の推進大会(写真①)において「公平・公正な明るい選挙の実現に向けて、三不運動を軸とした活動を進める」「貴重な一票を棄権することなく、自らの意思で有効に活かすよう、広く有権者に呼びかけていく」ことを活動の基本方針として、改めて位置づけることとしました。

その実現に向けた代表的な活動例として、区民まつりでの啓発が挙げられます。昨年は、新たな試みとして、啓発レクリエーション「輪投げ」(写真②)を実施し、未来の有権者である子供たちを含め多くの方々へ楽しみながら、選挙の大切さを伝えることができました。

さて、私たちは、発足以来様々な機会を捉えて、小さいながらも地道に活動の輪を紡いできました。これからも変わることなく啓発に取り組み、全ての緑区民の方に願いが届くよう、また明日から頑張っていこうと思っております。

推進員 加藤 秀子



写真①



写真②

岩槻区明るい選挙推進協議会

「岩槻区明るい選挙推進協議会」は、自治会等の団体から推薦いただいた12名の委員により構成されており、昨年4月の設立から2年目を迎えました。今年度は、これまで選挙の執行がなかったことから、常時啓発活動として、11月20日に岩槻文化公園で開催された「岩槻区民やまぶきまつり」におきまして、明るい選挙の推進と投票率の向上に向けて啓発活動を実施いたしました。今後は、統一地方選挙が行われることから、区選挙管理委員会の皆様と協力して街頭啓発活動の実施も予定しております。また、協議会組織の充実に向けて、活動にご協力いただける推進員の方の募集なども行って参りたいと考えております。

広報委員 瀬谷 正代



選挙豆知識

「統一地方選挙」について

- Q 統一地方選挙というのは、どのような選挙なのですか。
A 統一地方選挙は、ある一定の期間内に、任期満了を迎える地方自治体の首長、および議会議員の選挙について、全国で統一した期日で行うものです。
Q どうして統一して行うのですか。
A 地方自治体の首長および議会議員の選挙日は、それぞれの選挙管理委員会で決めることとなっていますが、まとめて実施することによって、選挙事務の負担を軽減したり、地方選挙に対する有権者の関心を高めたりできるメリットがあるからです。
Q 統一地方選挙の期日はどのようにして決められるのですか。
A 統一地方選挙の期日や対象となる選挙は、その都度、「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律」によって定められます。
Q どのくらいの地方自治体が統一地方選挙に参加するのですか。
A 地方自治体の合併や首長の任期途中での引退・死去などのため、統一地方選挙に参加する地方自治体は全体の約30%に減少しています。

選挙クイズ

次のクイズに挑戦しましょう。皆様のご応募をお待ちしています。

正解者には、抽選のうえ20名様に粗品を差し上げます。

Q1 平成19年4月8日(日)にさいたま市議会議員一般選挙と一緒にされる選挙は、次のうちどれでしょうか?

- 1 埼玉県知事選挙 2 さいたま市長選挙
3 埼玉県議会議員一般選挙 4 参議院議員通常選挙

Q2 平成19年3月30日(金)告示日のさいたま市議会議員一般選挙の選挙運動期間は次のうちどれでしょうか?

- 1 7日間 2 9日間
3 12日間 4 14日間

【応募方法】

はがきの裏面に次のことを記入し、

- 1 Q1, Q2の答え(番号) 2 郵便番号 3 住所
4 氏名 5 年齢
6 お読みになった感想又は選挙に対するご質問、ご意見等

はがきの表面に次のあて先を記入して応募してください。〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 さいたま市選挙管理委員会事務局 「選挙クイズ」係

【応募締切】 平成19年3月31日(当日消印有効)

*当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

ご存知ですか? 期日前投票制度

「期日前投票制度」とは、選挙期日でも、選挙期日と同様の投票を行うことができる(投票用紙を直接投票箱に入れることができる)制度です。

- 投票対象者
選挙期日に仕事や用務があるなど、一定の事由に該当すると見込まれる方です。
・旅行の予定のある方
・病気などの理由で投票日に投票できない方
・冠婚葬祭の予定のある方など

4月8日にさいたま市で行われる、「埼玉県議会議員一般選挙・さいたま市議会議員一般選挙」の期日前投票の投票場所等は、以下のとおりとなる予定です。

Table with columns for District (各区役所), Temporary Early Voting Location (臨時期日前投票所), and Voting Time (投票時間). Rows include districts like West (西区), North (北区), and Iwatsubo (岩槻区).

さいたま市 選挙キャラクターが決定!

さいたま市選挙キャラクターを募集したところ、全国から274件の応募があり、厳正な審査の結果、以下のキャラクターが選ばれました。今後は、さいたま市・区選挙管理委員会の啓発の顔として大活躍していきますので、応援してください!!



作品の説明

未来に向かってさいたま市をより豊かにする選挙ということできらめきの玉、10個でさいたま市全10区を表現しました。からだで選挙箱を表し、ハートが集まっている市の花「さくらそう」をワンポイントにしました。選挙に行かない子供たちから大人、ご年配の方まで一目見て分かってもらえ親んでもらえるように出来るだけシンプルに描きました。

みんなで守ろう「三不運動」

政治家は、有権者に寄付を贈らない
有権者は、政治家に寄付を求めない
政治家から有権者への寄付は受け取らない
禁止の具体例
○卒業祝・入学祝
○お中元・お歳暮
○落成式・開店祝いの花輪やお祝い
○お祭りへの寄付や差入れ
○町内会の集会や旅行などの催物への寸志や差入れ

地域の運動会やスポーツ大会への差入れ
ルールを守って明るい選挙!

各種選挙の任期一覧

Table listing election types (e.g., National Diet Member, Prefectural Assembly Member, Mayor) and their respective terms (e.g., 4 years, 4 years and 6 months).